

# 再生可能エネルギー発電事業始まる

## 太陽光パネル発電起動式典

2013年9月4日（水）に太陽光パネル発電起動式典を執り行い、発電事業を開始しました。

福島原発事故を受けて、日本のエネルギー政策は根本的な見直しなど国民の大きな関心事となっています。また、日本生協連からは原子力発電に頼らないエネルギー政策への転換などが提起されました。

富山県生協は、これまでCO<sub>2</sub>削減の取り組みなどを組合員とともに積極的に進めてきましたが、これらの背景を受けて学習を進めながら、再生可能エネルギー発電事業として安定した太陽光発電を始めることにしました。



施主挨拶をする松浦理事長



発電起動スイッチを入れると発電量がモニター表示されました



## 太陽光パネルの概要

プラットホームの屋根に520枚、本部の屋根に150枚、計670枚の太陽光パネルを設置し、最大出力で約160kwを発電します。年間発電量は15万7700kwを見込み、一般家庭の44世帯分に相当します。年間のCO<sub>2</sub>の排出削減量は129トンです。



プラットホーム屋根の太陽光パネル

## 再生可能エネルギーとは

エネルギー資源が少ない日本で今注目されているのが、太陽光や風力、バイオマス、太陽熱、地熱など自然の力による再生可能エネルギーです。これらは、エネルギー自給率の向上、地球温暖化対策、さらには将来の産業育成につながると期待されており、平成24年7月から「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が始まっています。この制度は、再生可能エネルギー（※）による電気の買い取りを電力会社に義務づけるなど社会全体で再生可能エネルギーを普及・拡大させるものです。



富山県生活協同組合

富山市金屋555

TEL 076-443-8800

<http://www.toyamaken-coop.or.jp/>

けんせいきょう